

平標山山行報告

【山行日】2018年6月7日(木) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 3,600円

【メンバー】CL:鈴木 大西、岡、関、田中

【コースタイム】岩舟支所P5:00＝

元橋 P6:50/7:10～平元新道登山口 8:20～

平標山の家 9:20/9:35～平標山 10:35/10:40～

お花畑 10:50～ベンチ 10:55/11:40～平標山

11:50～松手山 13:00/13:10～鉄塔 13:30～

元橋 P14:10/14:20＝道の駅「匠の里」

14:50/15:20＝岩舟支所P17:00



6/7(木)に山行のリクエストがあり、尾瀬アヤマメ平にするか平標山にするか迷ったが、ハクサンイチゲやハクサンコザクラが見頃だろうと平標山を計画した。今回は仙ノ倉山まで行かず、平標山から鞍部まで下ったお花畑まで行くことにする。岩舟支所を6時に出発し、北関東道から関越自動車



道を走り月夜野ICで降り、国道17号線を新潟に向かって進む。三国トンネルを抜けて新潟県に入り、苗場スキー場を過ぎた先の右側に元橋駐車場がある。駐車料金600円を払うが、舗装された駐車場にトイレが整備され登山者にはありがたい。すでに十数台車が止まっており、我々もトイレを済ませストレッチを行って出発する。トイレ脇の登山ポストに山行計画書を入れ、直ぐに舗装道に出るが道路を渡って直進し二居川沿いの登山道を進む。しばらく進むと別荘地の先

で林道に出て、林道を30分ほど歩くと平元新道登山口に着く。休憩して衣服調整し、水分を補給したら出発する。ここからは急坂の登山道を登るようになるが、樹林帯の中を気持ちよく歩ける。登るにつれブナの樹林帯になり、ナナカマドやムシカリなども多くとても雰囲気の良い登山道だ。

高度が上がるにつれ眺望が良くなり、樹間に残雪の苗場山が望め、疲れが癒される。急坂を一途に登り、傾斜が緩くなると平標山の家に着く。山の家からこれから登る平標山や仙ノ倉山が望め、絶景を眺めながらメロンを食べ休憩する。山を家のトイレを借り、鐘の前で記念写真を撮ったら平標山へ向かう。

森林限界を超え見晴らしの良い稜線を登り、コイワカガミやイワイチョウ、ミツバオーレン等の花を見ながら気持ちよく登って行く。



途中のベンチで小休止し、菓子を食べながら眺望を楽しむ。ここからほんの一登りで平標山山頂に着き、360度の大自然を楽しみ。東に苗場山や鳥兜山、西に仙ノ倉山から万太郎山等々上信越



の山々が素晴らしい。記念写真を撮ったら仙ノ倉山方面へ下り、途中の斜面からお花畑が広がっていた。ハクサンイチゲとハクサンコザクラ、ミヤマキンバイ等の花が丁度見頃で、斜面を埋め尽くす花々に圧倒される。写真を撮りながらのんびり下り、鞍部の休憩所でランチタイムとする。皆さんはこの先のお花畑まで散策し、我輩とO嬢で山ご飯の準備をする。

今日の山ご飯はチタケうどんと出汁巻き卵やキュウリの漬物。丁度うどんが出来上がった

所に皆さんが戻り、熱々のチタケうどんを美味しくいただいた。お腹がいっぱいになったら来た道に戻り、再びお花を見ながら平標山まで登り返す。

山頂からもう一度上信越の山々の眺望を楽しみ、山頂をあとにして松手山方面へ下って行く。

展望の良い道を下って行き、やがて笹原の平坦な道を下り、緩やかに小ピークをいくつか越えて下るとザレ場を下るようになる。ハクサンイチゲの大群落を見て急坂を下り、再び平坦な尾根を歩くようになる。

その先端の小ピークが松手山山頂で、休憩をとり水分を補給する。振り返ると今降りてきた尾根から平標山頂が見渡せ、「もうこんなに下って来たんだね」と驚いていた。

二居へ下る道を右に分け、直進して元橋方面へ下る。この先からは樹林帯の急坂が続き、巨大鉄塔の脇を通り、さらに急斜面をしばらく下ると舗装道に出る。舗装道を左に進み、橋を渡ってすぐに右に進むと元橋の駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。予定より早く下山したので道の駅に寄りたいと



リクエストがあり、途中の道の駅「匠の里」に寄ることにする。「匠の里」は物産センターや農産物直売所、こんにゃくの売店、豆腐の売店などが立ち並びとても広い。農産物直売所で野菜やヨーグルトを買い、別棟の豆腐工房で豆腐と厚揚げをゲットする。

お土産を買ったら車に戻り、岩舟支所に向かう。

関越道と北関東道は順調に走り、予定よりも1時間30分早く岩舟支所に到着出来た。